



国労石川

国鉄労働組合 石川県支部
 発行人 大巻道秋
 編集人 後藤通広
 2022年3月22日 25-NO.15

JR西日本

基準昇給実施

ベア・年間臨給

4月以降に回答

JR西日本会社は3月16日、「基準昇給は実施するが、その他については現時点においてまだ判断には至っていない。慎重に判断をしているところである。経営状況は2年連続の赤字見込みであり非常に厳しい。ギリギリまで見極めて4月初旬までには別途行なう」と回答しました。

国労西日本本部は、「回答指定日までに回答が出ない状況は、労働者に不安を煽り、モチベーションの低下にもなり、離職者も増える可能性もあることから、悪戯に延ばすべきものではない」と主張しました。国労石川県支部は、回答指定日(3月17日)に対して、会社が全ての回答を示さないことに、抗議の意を表わすとともに、新型コロナウイルス感染リスクに晒されながら働いている労働者の労苦に報いるため、今こそ、労働者と家族の期待に応え、国労要求の「6,000円のベースアップ」「期末手当について」「年度末手当について」「賃金制度に関する要求」等を早急に満額回答するよう強く要請するための「要請書」を3月17日、長谷川社長に送付しました。

JR貨物

定期昇給は実施

昇給前の基本給に0.1%(平均300

円)を乗じた額を加える

低額回答

3月17日、貨物会社は「2022年4月1日以降の賃金引き上げに関する申し入れ」(国労闘申第7号)に対し、今年度については「定期昇給を実施するとともに、2022年7月1日現在(昇給前)上の基本給に0.1%(平均300円)乗じた額を加える」との回答を行いました。

これに対し、国労本部は、「今回の回答は、『有額回答』ではあるものの、『低額回答』そのものであり、労働者と家族の生活改善には程遠く、自然災害やコロナ禍による減収を労働者に転嫁するものでしかない」と抗議しました。

この回答は、国労要求とは大きく乖離し、減収を労働者犠牲で乗り切るもので、納得できません。また、コロナ禍において、常に感染のリスクと隣り合わせで業務に従事する労働者感情を逆撫でするものであり、経営責任を果たしているとは思えません。国労石川県支部は、貨物会社の「低額ベア」回答に対し抗議の取り組みとして、「抗議文」を貨物本社及び関西支社に送付しました。